

環境活動レポート

臨時号

対象期間：平成25年8月から10月



平成25年11月15日

有限会社プラネット・コンサルティングネットワーク

環境方針

〈環境理念〉

(有)プラネット・コンサルティングネットワークは、「心を豊かにする美しい風景の創出」をめざし、それを支える技術の追求をつづけ、“生きた風景”づくりに取り組んでいます。

〈環境方針〉

1. 環境理念に基づき、環境に配慮した業務の推進を図ります。
 - (1) 生物多様性に配慮し、豊かな生態系を保全する事業活動を推進します。
 - (2) 環境体験、環境学習事業に取り組み、環境に関する意識の高い人材を育成します。
 - (3) 環境配慮製品を活用し、環境負荷の少ない社会の構築に貢献します
 - (4) 省エネルギー、省資源に務め、環境負荷の少ない事業活動を行います。
2. エコアクション21に基づく、環境マネジメントシステムを構築・運用し、積極的に環境の負荷の低減に取り組みます。
 - (1) 商品、サービスでの環境配慮を促進します。
 - (2) 社員の環境教育に努め、環境に関する認識を共有します。
 - (3) 環境配慮商品の購入を促進します。
 - (4) 二酸化炭素排出量の削減、廃棄物排出量の削減、水使用量の削減を図ります。
3. 環境に関する法令を遵守し、環境方針を周囲に周知し、環境意識の普及を図ります。

平成 25 年 8 月 1 日

(有)プラネット・コンサルティングネットワーク

代表取締役

岡島 桂一郎

1. 組織の概要

■ 事業所名及び代表者氏名

有限会社 プラネット・コンサルティングネットワーク
代表取締役 岡島 桂一郎

・所在地

本 社 : 東京都江戸川区松江7-21-19
千葉事務所: 千葉県印旛郡酒々井町伊篠934-3

・環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 : 影山 秀子 TEL: 03-2652-5508
FAX: 03-3652-5506
Eメール: main@planetcn.jp

担 当 者 : 影山 秀子 TEL: 03-3652-5508
FAX: 03-3652-5506
Eメール: main@planetcn.jp

■ 事業活動の内容

- ・公園緑地・里山・都市の調査、計画、設計及び運営維持管理計画、
- ・環境教育

- ・一級建築士事務所 東京都知事登録 第43868号
- ・建設コンサルタント 建22第7068号 造園部門
都市計画及び地方計画部門

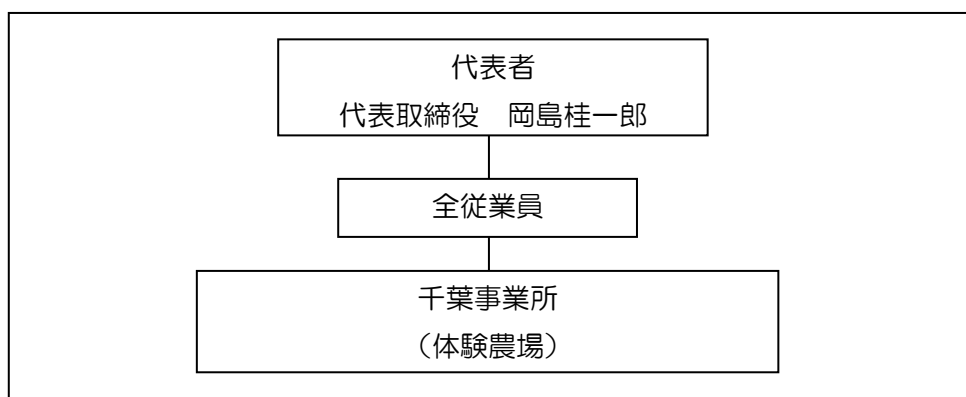
・事業の規模

主要製品の生産量、 11件/24年度

	本社	千葉事務所
従業員数	6名	1名
延床面積	125.77 m ²	70 m ²
農場面積		10,000 m ²

2. 認証登録の対象範囲

全事業・全組織を対象に平成25年8月からエコアクション21に取り組開始 平成25年12月に認証・登録審査を申し込み予定



3. 環境目標と実績

環境への負荷の自己チェックシートを基に平成24年を基準年で設定

【中期目標】

環境目標		基準年	25年度	26年度	27年度
二酸化炭素排出量の削減 kg-co2	目標	—	12,870(-1%)	12,739(-2%)	13,073 (-3%)
	実績	13,000			
・電気使用(本社) kwh	目標	—	20,386(-1%)	20,180(-2%)	20,974(-3%)
	実績	20,592			
・ガソリン使用 ℓ	目標	—	1,469(-1%)	1,454(-2%)	1,439(-3%)
	実績	1,484			
排出量の削減(古紙)) kg	目標	—	495(-1%)	490(-2%)	485(-3%)
	実績	500			
排出量の削減(普通ごみ) Kg	目標	—	239(-1%)	2367(-2%)	249(-3%)
	実績	241.2			
OA用紙、文房具、生活用品 グリーン購入率向上	目標	—	実績把握	25年度実績で設定	
	実績				
設計、コンサル案件への環 境配慮 配慮率	目標		100%	100%	100%
	実績	100%			
環境体験学習の促進 件数	目標	—	3(+2)	4(+3)	5(+4)
	実績	1			

*購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.464 kg-co2/kwh を使用

初動期間（平成 25 年 8 月～10 月）

環境目標	基準年	目標	実績	評価 *
二酸化炭素排出量の削減 kg-co2	3796	3766	3422	◎
・電気使用量の削減 kwh	5439	5403	5301	◎
・ガソリン使用量の削減 ℓ	547.83	542.35	414.32	◎
・LPG 使用量 kg	0.5	0.495	0.1	◎
排出物の削減(古紙) kg	100	99	76	◎
排出物の削減(普通ごみ) kg	59.1	58.5	55.5	◎
水使用量の削減		活動の実施	実施	◎
OA 用紙、文房具、生活用品でのグリーン率向上	未把握	実績把握、	33%	◎
設計、コンサル案件に環境配慮	100%	100%	100%	◎
環境体験学習の促進	0	1	2	◎

*評価の基準 ◎達成 △1 業務量増に付き未達成 △2 ほぼ達成 ×未達成

4. 環境活動計画、取組結果とその評価、次年度への取組

活動計画	実施時期	取組み結果	評価
電気使用量の削減			
・空調設定 夏 28 度、冬 20 度	日常	28℃に設定	◎
・不在エリア、作業エリア以外の照明 OFF		実施された	◎
・昼休み消灯		実施された	◎
・パソコン、複合機の省エネ設定		全数設定	◎
ガソリン使用量の削減			
・エコドライブの実施	日常	実施された	◎
・近隣は自転車利用	日常	実施された	◎
・公共交通機関の利用促進	日常	実施された	◎
・タイヤ空気圧の確認	週一回	給油時確認	◎
LPG 使用量の削減			
・給油時の待機 ON 止める	日常	実施された	◎
水使用量の削減			
・流し洗いを原則禁止	日常	実施された。	◎
・トイレ等でのチョコ漏れ確認	日常	実施された	◎
排出物の削減(古紙)			
・裏紙使用	日常	確実に実施されている	◎
・ミスコピーの削減	日常	努力が見られる	◎
・江戸川区資源リサイクル事業組合へ排出	排出時	実施された	◎
排出物の削減(普通ごみ)			

・江戸川区分別の確実実施(資源ごみとその他)	日常	実施された	◎
・ごみ袋が満杯になってから排出	排出時	不十分さが散見	△
・個人持込みは持ち帰る	日常	実施された	◎
グリーン購入品目率の向上			
・文房具類、生活用品はグリーン商品優先	日常	グリーン商品判定基準に曖昧さが残っている。	△
・エコタイヤを発注	交換時	タイヤ交換なし	—
設計・コンサル案件での環境配慮			
・+環境配慮の提案と採用を促進	設計時	実施された	◎
・設計、コンサルの報告書でのチェック	照査時	実施された	◎
環境体験学習の提供促進			
・農業体験の確実な実施	春・秋	稲刈り、芋ほり（10月） 脱穀体験（11月）を実施	◎
・自然観察等の検討	秋	昆虫調査(10月)を実施。	◎

【次年度向けの取組】

①設計・コンサル案件での環境配慮

設計、コンサルタント業務実施時に、業務の中で、本社のめざす、自然環境の保全や自然環境教育の実践につながる提案を中心に、全ての事業が環境に配慮したものとなるよう企画、提案を継続して行っていくものとする。

②環境体験教育の促進

当社の目標の一つである自然環境教育の実践に向けて、環境教育プログラムを実施するものとする。来年度は、3回のプログラムの実線を目指とする。

③二酸化炭素排出量の削減

二酸化炭素排出の原因となる電気、ガソリン、LPGについては、削減の努力を継続し、基準年に比べて1%の削減を目指とする。

④節水

使用水量の把握が困難であるが、極力節水に努めることとする。特に、漏水のチェック、流し洗いをしないなどの節水を社員全員で徹底することとする。

⑤古紙の削減

現在、古紙については、江戸川リサイクル事業協同組合のリサイクル事業に参加し、全ての古紙をリサイクルしている。リサイクルしているからといって、野放図に枯紙を排出することは、環境への負荷を高めることに繋がることから、古紙を極力減らす努力を行う。基準年の排出量の1%削減をめざすものとする。

⑥グリーン購入品目率の向上

現在、オフィスの事務用品、生活用品については、56%のグリーン購入品目率であった。来年度は、購入の際にグリーン購入品目の確認を徹底し、グリーン購入品目を60%に上げることを目標とする。

5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、訴訟等の有無

主要な法規	確認内容	評価結果
江戸川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例	分別排出（資源ごみと他）	確実に実施された。
	江戸川区資源リサイクル事業協同組合への排出	確実に実施された
	有料ごみシール券の貼り付け	確実に実施された。
	再利用可能なものの分別排出	確実に実施された。
家電リサイクル法	家電リサル券の購入	廃棄なし
資源有効利用促進法	PC等廃棄での製造業者への引き渡し	廃棄なし

環境関連法規への違反はありません。なお、関連当局よりの違反等の指摘は、過去三年間ありません。訴訟もありません。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

8月～10月については、ほぼ、環境目標を達成した。特に、CO₂については削減率が高かった。ガソリンについては、業務によって波があるため、今後とも取り組みを継続し、推移を注視する。電気については、取り組みの成果が現れているのでは、ないかと考えられる。

グリーン調達については、現状の把握を行ったが、日頃より、環境にやさしいものを購入することに努めているつもりであったが、思ったよりグリーン調達率が低かった。今後、環境管理責任者に検討をさせ、グリーン調達の判定方法を検討させる。

環境活動計画については、取り組み始めたばかりであり、不慣れな面もあったが、少しずつ慣れてきているように思う。今後は、さらに取り組みの成果が現れるのではないかと期待している。